

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：ポピンズナーサリースクールセンター南	種別：保育所	
代表者氏名：園長 塚本 博	定員（利用人数）： 50名	
所在地：横浜市都筑区茅ヶ崎中央40-3 グランクレールセンター南 1F		
TEL：045-942-2100	ホームページ：https://www.poppins.co.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2010年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社ポピンズ		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 12名
専門職員	保育士 20名	栄養士 2名
	看護師 1名	その他 4名
施設・設備 の概要	(居室数)	(設備等)
	0歳児保育室・1歳児保育室・2.3歳児保育室・4.5歳児保育室・調理室・乳幼児トイレ・医務室・事務室	冷暖房・床暖房・空気清浄機

③理念・基本方針

ポピンズナーサリースクールの目標

「人生で最も重要な時期の人間教育を目指します」

寛容な人間・聡明で愛情深い人間・探求心の旺盛な人間・グローバル社会で活躍できる人間

④施設・事業所の特徴的な取組

ポピンズでは様々な可能性を秘めたお子様たちに、真の人間教育（エデュケア）を行います。エデュケアとは「エデュケーション」と「ケア」を組み合わせた言葉です。このエデュケアを実践していくためにポピンズアプローチという独自の手法でお子様たちの成長を支援していきます。ポピンズアプローチでは、「知力8（エイト）」として子どもたちの知力を大きく8つの領域に整理しています。知力とは、知能と学ぶ意欲からなる力を指しています。これら8つの知力はそれぞれが独立しているものではなく、頭の中では脳という一つの器官でつながっています。こころとからだを存分に使い遊んだ経験が、子どものあたまたに豊かな栄養を与えて育てます。私たちは、知力8を「8つの花卉を持つ花」に例えて考えています。花の根の部分が知力の基盤です。この基盤となる土壌は、お子様が遊び生活することを通して耕されます。豊かな土壌の上に、知力の芽が出て、成長してやがて8つの花卉を持った美しい花が咲くところをイメージしてみてください。花の成長のスピードや8つの花卉は決して一様ではありません。例えば、運動遊びは大好きだけれど歌はあまり好きではないお子様もいるかもしれません。そのような時には、運動遊びの中に音楽を取り入れる活動を考えることができます。このように、一人一人の花

に寄り添った関わり方を工夫することが大切と考えています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年6月1日（契約日） ～ 2021年12月28日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（平成28年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

保護者の意見や要望を把握して園運営の向上に力を入れている

・保護者の意向は年1回の顧客満足度アンケートや運営委員会、保護者懇談会などで把握に努めている。本社からの情報提供やメールの配信などもあり、さまざまな場で園を取り巻く環境の把握に努め課題を見出している。園の課題として職員間で検討し、次年度の運営に反映することで園運営の向上に力を入れている。なお、保護者からの要望や意見などは是正策を立てて改善に取り組んでいる。保護者の意向は送迎時や連絡帳などからも把握に努め、要望や意見などは迅速に対応し改善に結び付けている。

新型コロナウイルスの感染予防対策を徹底させ、園運営を継続させている

・感染症については予防マニュアルが整備されており、発生したときは掲示で保護者に伝え園内の消毒も行っている。感染症シーズンには看護師が、子どもに手洗いやうがいの指導をするなど予防に努めている。また、園のしおりには感染症一覧や避難場所、災害伝言ダイヤルについて記載し、園児の安全対策について伝えている。コロナ禍の感染予防対策についても徹底して行っている。そのため保育士の負担が大きくなっていることは課題だが、現在まで運営を止めることなく継続することができている。

子どもの意見を聞き入れた活動を展開をしたり、興味関心に寄り添うように配慮している

・子どもの主体性を大切に考え、室内遊具は自分たちで選んだり片付けできるように環境設定している。年齢だけでなく子どもの興味に合わせた玩具や絵本を設置し、子どもの興味関心に寄り添いながら活動内容を工夫している。制作活動では年齢ごとに自由に表現し個性が発揮できるように援助し、様々な活動において、答えを教えるのではなく一緒に考えたり発見から学ぶことを大切にしている。多文化理解やSDGsへの取り組みを通して、個性を尊重したり違いを受け入れられる人間教育を目指している。

◇改善を求められる点

ホームページなどの情報提供媒体の活用方法を充実させることを目指している

・ホームページには「法人としての保育に対する取り組み姿勢」について詳しく記載し、保育園の特色である「エデュケアプログラム」についてや「ナーサリースクールでの過ごし方」「年間行事予定」「1日の流れ」なども載せている。さらに、今般のような外部の方の来訪を制限せざるを得ない状況を鑑み、入園を希望する保護者に対して、園固有の情報量を充実させ、充実した情報提供になることを目指している。

保幼少の取り組みや就学先との交流の再開が期待される

・小学校との連携や就学を見通した計画については、全体的な計画にも項目があり保育計画に取り入れている。

都筑区5歳児交流などで就学前にお友だちになる機会を設けているが、コロナ禍においては年間の保幼少の取り組みなどは中止となっている。また、広範囲からの園利用もあり、

就学先との交流の案内が来ないことや、依頼しても実交流に繋がっていない現状があることなどを課題としている。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

お忙しい中アンケートにご協力くださった保護者の皆様、ご理解ご協力ありがとうございます。また、あたたかなお言葉など
沢山いただき職員一同、感謝しております。
開園から10年を迎え、これまで地域との交流を大切にしてきました。現在はコロナ禍であるため、地域や外部との交流を控えることで感染症予防対策をしています。現在も、行事のオンライン開催・分散開催となり、通常運営の難しさを感じております。ですが、一番大事にしているのは「園児・保護者・職員の健康や安全を守ること」を最優先に運営しています。その為、今回の第三者評価で新たに見えた課題については今後、前向きに検討して参りたいと思います。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり